

釋宗演 しやくおん 僧侶。安政六年十一月十八日若狹國生乳、大正八年十一月一日歿（一八五九—一九一九）。舊姓一ノ瀬、字洪嶽、幼名常次郎、初稱祖光。號不可性子、小漸兒、僧楞伽、楞伽窟、楞伽老漢、楞伽道人、般若敬多、釋小漸兒、釋洪嶽等。明治四年出家、十八年今北洪川の印可寺受け渡應義塾の學ぶ。二十年から二十二年間セイヤクン滞在、二十五年

圓覺寺派管長、二十六年建長寺派管長、大正二年臨濟宗大學學長に就任。『釋宗演全集』全十卷（昭和四年—五年平凡社）刊。長尾宗賦編

『宗演禪師と其周圍』（大正十二年六月）二十五日國史講習會）がある。

著書 『明治廿六年佛敎講習集』（合著・廣田一乘編、明治二十六年十月）『頁斯講習會佛敎講習集』（合著・伊藤賢達編、明治二十六年十月）

『二十日佛敎學會』（蒼龍窟年譜）（共編、明治二十七年四月）二十

日大倉保五郎刊）、『提唱十牛圖』（待者某筆記、明治二十九年十一月十一日）

『止覺會』（『金剛經講義』（内題「金剛般若波羅蜜多經」楞伽道人名、明治二十二年二月）二十九日光融館）、『禪海一瀾講義』（内

題「禪海一瀾二十則提唱」伊内七郎筆記、明治二十四年二月）二十三日

經世書院）、『隆慶白史』（明治二十七年十一月）二十一日鎌倉建長寺

藏板、金港堂書籍株式會社）、『歐米雲水記』（明治四十年十月）十二

日金港堂書籍株式會社）、『荃蹄錄』（明治四十一年二月十日弘道

館）、『十牛圖講話』（大正二年一月）二十一日日光融館）、『宗演禪話』

（飯塚夢窓編、大正五年十一月一日

大阪屋號書店）、『燕雲楚水』（大

正七年五月五日神

奈川・東慶寺。附

錄・一條教堂「隨



行自記」)、
『楞伽窟歌集』(大正十年十一月一日佐佐木信綱編刊、
神奈川・東渡寺)、
『京濱禪師書翰集』(長尾大學編著、昭和六年十
月二十六日二松堂)等。